

今年は、"今"という言葉を令和 7 年の指針と決めて一か月間生活してきました。とってもいい言葉だなぁと今感じています。ふる里は、『笑顔』をモットーにしていますので、どんなことがあっても先ずは『笑顔』になること。『笑顔』を出すことです。そうすると、日常生活に活気が出て、出会う方々との対話に潤いが生まれ、心が温かくなります。家族に対し有難さが生まれ、ホンワカした幸せを感じ、感謝せずにはおれない気持ちになります。そして、"今"という言葉を今年の指針にしたことで、思ったら、考えたらすぐに行動に移し、後には回さない。ということを私自身意識して行動しているようです。毎日が充実するだけでなく、人の往来や、自然、生活環境に新たな発見が生まれるのです。感動であり、喜びです。後に回すことが少なくなり、情報が多く入り込んできます。この"情報"が面白いのです。

送迎の時、利用者の方から、「この前の利用の時に、職員さんの脳トレで"渡る世間は鬼ばか りの反対の言葉は何でしょう。"との問いかけがあり、私が、知ってることで、思い出そうと一生 懸命に考えましたよ。しばらく考えて、思い出しました。"渡る世間に鬼はなし"でした。子供の 頃にカルタ遊びをしてその中にも書いてありました。」と話されました。私は、"渡る世間は鬼ば かり"が、昔から言われている言葉で、「**人生は苦労の連続」**とか「**人生は苦である」**との言葉か らそのように思っていました。しかし実は、"渡る世間に鬼はなし"で、「**世間には鬼のように冷た** い人ばかりでなく、心が温かくて親切な人もいるというたとえ。」ということです。自分自身の中 にある役に立たないのに後生大事(ごしょうだいじ)に温めている根性が"鬼"なのでしょう。私自 身は、節分の時に使う"鬼"とは、正義や道徳、和合、調和に反した生き方が"鬼"と思います。 一方"福"は、"あかるく・やわらかく・やさしく"で、笑顔の生活が"福"と思っています。私自身 道理に反した生き方もしていることもあると思うので、"今"思っていることを具体的な行動や 考えに変えて人が喜ぶ生活を充実させなければと思いました。年齢を重ねた利用者の方々の 知恵ある言葉はすごいなぁと思いました。私自身は、この世は、福に包まれている、福ばかり、 と思っています。あえて"鬼は?"と尋ねられたら、他人を思わない心、人を嫌うだけでなく憎ん だり羨(うらや)んだりする気持ち。笑顔がない生活など、誰が見ても、快いと思わない表情や態 度です。そんな気持ちや態度になる私自身に"福は内、鬼は外"です。

2月を過ぎますと3月になります。3月1日は、記念すべき日であります。平成 11 年、西暦 1999 年にふる里の母体であります『社会福祉法人隆明会』が初めて事業を行った"デイサービスセンターふる里"が開設された日です。ですから今年の 3 月 1 日で"デイサービスセンターふる里"は満26 歳を迎えることになります。私の自慢の施設です。素晴らしい施設でますます成長していますよ。







令和7年は1月4日の『ふる里初詣』で始まりました。仕事初めが土曜日だった事もあり、皆さんに初詣をして頂こうと行いました。畳の中央にはふる里神社の神棚を設置していたら利用者様も参拝してから席に着かれる方が多くいらっしゃいました。センター長による祝詞とお祓いをして頂き、おみくじをひいてもらいました。おみくじを開いて中を見られたら「中吉だった!」、「やった大吉だ!」と皆さん嬉しそうにしていらっしゃいました。



1月行事は毎年恒例の『新年会』を開催いたしました。今年は1月6日、7日、8日の三日間行いました。センター長の挨拶で始まりその後着物姿の職員の登場で一段と華か会場になりました。"お屠蘇"と"お年賀"をお配りしました。今年の干し柿は柔らかく仕上がり、皆さん美味しそうに食べて



いらっしゃいました。いよいよレクリエーションの始まりです。初日と三日目は『何個焼けるかな』を行いました。火鉢を模した台に網を載せ、その上に並べたお餅を 20 秒間でひっくり返した数が点数になります。そして餅の中にはシールの付いた 2 点の餅もまぎれています。スタートの合図と共にみなさん勢いよくひっくり返されていました。沢山の餅をひっくり返した時は周りから「おー!」と歓声が上がり、とても盛り上がりました。二日目は『めんこで福笑い』を行いまし。床に置いてある福笑いの台座に上から順番に目や口、鼻、頬っぺたを落としていき出来上がった"福笑い"と一緒に写真を撮りました。そして最後にじゃんけんをしてあいこなら1点、勝ちなら2点、負けは0点と得点が付きます。いろいろな場所にパーツが落ちて皆さんそれぞれ個性的な作品が出来上がりました。出来上がった福の顔に笑いも巻き起こりとても楽しい時間になりました。





















職員の美しい着物姿

センター長挨拶の後、今年も女性職員が美しい着物姿で新年の挨拶をされました。着付けは泉さんと古川さんが昨年同様に手伝って下さいました。皆さん着物に合わせてお化粧や飾りつけをされ、いつも見ている職員の雰囲気とまた違う姿に見とれていらっしゃいました。着物姿の職員は、利用者様の前に立って正面、右、後ろ、左、と向きを変えて着物姿を披露されました。少し恥ずかしそうにしていましたが、利用者様は、その姿に見とれながらも拍手をされていました。

仮装も元気いっぱいに!

今年の行事担当職員の登場は"元気いっぱいに楽しく"を目標にしていました。"獅子舞"や"お坊さん"、"鯛焼きくん"の仮装でダンスや劇を行いました。利用者様も手拍子や拍手などで出迎えて頂き、レクリエーションに向けてテンションをあげて参加する事が出来ました。 行事担当者 田口 真一、坂井 洋子

\$ **3** = 4 5

昼食は松華堂の器に色鮮やかな料理が盛り付けてありました。紅白の蒲鉾や黒豆などお正月に欠かせない料理もありました。皆さんペロッと完食されとても満足そうにされていらっしゃいました。



赤飯



いち〕大福



炊き込み御飯



ロールケーキ



ちらし寿司



いちごと抹茶のケーキ

訪問ボランティア

今月は 22 日に『めぐみ会様』が来訪されました。7曲の音楽に合わせて披露されました。花の模様が入った綺麗な着物姿と踊りの中で舞う扇子の動きが、とても煌びやかで利用者様も見とれていらっしゃいました。最後の曲では職員も一緒に参加し会場全体で"花笠音頭"を踊りました。アンコールで"炭坑節"も踊りました。とても楽しい時間を過ごす事が出来ました。先生に次回の来訪をお願いしたら、「春に来ましょうかね」とのことでした。今から楽しみです。



居宅介護サービスセンター ふる里

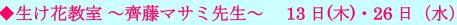
介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行い、介護全般の相談役であるケアマネージャー(介

護支援専門員)が皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。 業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は無料です。 24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。





◆ふる里 2月行事 『鬼退治』 2月4日(火)・5日(水)6日(木)





リロ(オノ・21 日(外 1**91** 日(会)

◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~

21 日(金)

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、 皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ~中村壽美子先生~

25 日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁 …~鬼橋クラブの皆様他~

毎週水曜日午後(5日、12日、19日、26日予定)

◆訪問ボランティア 22日(土) ~大村民謡愛好会様~













聖叶花数室

実は私は、新年を東京で迎えました。都会の雰囲気を十分に堪能して参りました。今年はノリノリですよ。さて、冬は空気が乾燥し火災が発生し易くなります。特に電気火災が近年増えており、コンセントの埃や折れ曲がった電源ケーブル、バッテリーの破損など沢山の火災の原因があります。自宅の中で見つけた時はこまめに掃除をして火災予防を行っていきましょう。 2月は火災避難訓練を計画しています。安全を意識して今年も生活していきます。 編集後記:田口 真一



刊

創

令和7年(2025年)2月11日発行

ふる里からの在介たより

発行者:大村市在宅介護支援センターふる里

皆さまこんにちは、『大村市在宅介護支援センターふる里』です。当事業所は、平成 14 年に大村市から設立認可され、地域発展に寄与するために設立されました。地域の老人クラブ、自主活動されている高齢者クラブの充実と発展に向け、レクリエーションや介護予防事業の開催を行っています。

大村市在宅介護支援センターふる里は、社会福祉法人隆明会の下で活動しています。今回、大村市在宅介護支援センターふる里から「ふる里からの在介たより」を発刊することになりました。記念すべき第1号です。大村市在宅介護支援センターは、通称"在介(ざいかい)"と呼ばれています。皆様方もどうか"在介(ざいかい)"と言って、親しんでいただければ幸いです。地域活動や研修など

『野菊の会』

『野菊の会』は、大村市松原地区の高齢者グループの活動団体です。松原地区住民センターで開催されています。 毎月第2木曜日に開催され在介の職員がお邪魔して、介護 予防のための体操やレクリエーション活動を行っています。







対戦レクリエーション「うまく焼けるかな?」ゲーム

各団体の実情などの情報を掲載して参ります。

1月9日木曜日、新年の活動の様子です。体操とレクリエーションの間に、 年末・年始を皆さんどのように過ごされたのかお話を伺いました。

レクリエーション「うまく焼けるかな?」では、石鹸箱で作った餅を時間内 にトングでひっくり返していくもので、皆さん楽しんで参加されていました!

『楽習会のつどい』

『楽習会のつどい』は、大村市竹松地区の西田様の ご家庭で毎月第 2・4 日曜日に開催されている高齢 者グループの活動団体です。在介の職員がお邪魔

して、介護予防のための体操やレクリエーション活動を行っています。現在では、ベトナムからの外国人労働者のご家族も参加されていて、国際交流になっています。西田様ご夫婦で作られる昼食メニューは大好評です。







「ベトナムからのご家族」

(毎回、西田さんご夫婦による手作りの昼食)

1月12日日曜日、新年第一回目の『楽習会』です。新年会ということで、とても盛り上がりました。雪の歌を歌い、体操をした後、折り紙で雪だるまをつくりました。鐘ヶ江さんによる本の読み聞かせもありました。寒くなり身体の痛みを訴える人もいました。

『菜の花会』

『菜の花会』は、大村市福重地区の福重住民センターで、毎週金曜日に開催されている高齢者グループの活動団体です。 その中の第2週目に、在介の職員がお邪魔して、介護予防の

ための体操やレクリエーション活動を行っています。明るい団体で、敬老の日には、福 重地区敬老祝賀会で余興を披露されるなど活発なグループです。









対戦レクリエーション「お金ゲーム」

1月17日金曜日、在介職員からのお話しで始まりました。阪神・淡路大震 災から30年の話しや、頼れるのは人間、寄り添って過ごすことが大事といっ た話をしました。その後、今年の抱負をお一人ずつ言ってもらい、今が大事、 今をしっかり生きる、という話がその後どんどん出てきました。

レクリエーションでは、お金ゲーム(じゃんけんをして、勝った方が玩具のお金をもらう)や、リトミックで"草津節""浪花節だよ人生は!"の曲を流して上下肢運動を行いました。

『琴平会(宮代町老人会)介護予防教室』

『琴平会』は、 大村市 萱瀬 地 区の宮代老人ク

ラブの名称で、毎月 10 日に宮代公民館で開催されている活動です。会合の一部の時間に、在介の職員がお邪魔して、介護予防のための体操やレクリエーション活動を行っています。 ♪ 琴平会のうた ♪ という独自に作られたの会の歌を歌ってからの始まりになっています。



1月10日金曜日、新年の始まりは、『新年会』。その前に、体操・歌体操『浪花節だよ人生は』を行いました。「身体を久しぶりに動かした。」と話されていました。また、寒い日が続いているため、お風呂に入る時の注意等を話しました。

レクリエーションは、『野菜のつめ放題』をしました。世の中 が物価高で、男性も喜ばれ盛り上がりました。

レクリエーション「野菜が詰め放題だよ!」(左の写真)ゲームの一コマ

『小路口本町介護予防教室』

小路口本町老人クラブは、『路寿会(ろじゅかい)』の名称で親しまれています。大村市竹松地区の小路口本

町公民館で、毎月10日に開催されています。年間計画や催し事などの話し合いとか反省会などの時は、公民館で話しますが、年間のほとんどの活動は、グランドゴルフで「ワイワイ・ガヤガヤ」の楽しい・元気いっぱいのグループです。お正月の新年会に在介の職員が呼ばれてお邪魔しました。







1月10日金曜日、『新年会』ということで、音楽に合わせて獅子舞の姿で登場したところ、皆さん大喜び。正に"新年初ばか笑い"となりました。その後、お一人ずつ、お正月の過ごされ方や、今年の抱負をお聞きしました。また、歌体操や手遊び運動を行いました。

介護予防の後は、『新年会』の始まりです。皆さん、各々の家からご自身で漬けた漬物や料理を持ってこられており、餅を焼いて"ぜんざい"を頂きました。

2月の予定

- ・『野菊の会』 13日(木) 場所:松原出張所 (毎月 第2木曜日):
- ・『楽習会のつどい』場所:竹松町の西田様宅 (第2・4 日曜日):大村市全域
- ・『菜の花会』 21 日(金) 場所:福重出張所 : (沖田・福重・竹松地区)
- ・『かやぜふれあい館』場所: 萱瀬出張所7日(金)が雪の為3月7日に延期。
- ・『鬼橋クラブ(鬼橋町老人会)介護予防教室』11日(火)(鬼橋地区)
- ※インフルエンザ・コロナ流行の為、中止でした。
- ・『琴平会介護予防教室』10日(月)場所:宮代公民館 ※寒さで中止。
- ・『宮代ふれあい館』 14日(金) 場所:宮代公民館

ふる里は大村市民ミュージカルを応援しています。昨年 9 月から練習が始まり、3月の本番に向けて一丸となって練習しています。子供たちの明るさと元気は出演者全員の心のオアシスになっています。どうか応援がてら観に来てください。お待ちしています!

